



インターネットでの情報提供	
提供予定日	6月16日

平成23年6月15日（水） 県政記者クラブ配付資料			
所管課	担当	担当者	電話番号
商工労働部情報産業課	情報産業担当	森 達哉	直通 058-272-8375 内線 3112

スマートフォンアプリ開発人材100人の育成を開始！

～GIFU・スマートフォンプロジェクト～

県では、「緊急雇用創出事業臨時特例基金事業（地域人材育成事業）」を活用し、近年、全国的に人材が不足する、iPhone、Androidといったスマートフォンアプリの開発ができる人材を育成する「スマートフォンアプリ開発人材育成事業」を実施します。

本事業では、スマートフォン全体を視野に入れ、iPhone、Android 両方のアプリ開発が可能な人材、Androidの組込分野（※）への応用が可能な人材、ベンチャー起業を視野に入れた人材など、地元IT企業を中心とした各受託事業者それぞれが持つ技術、ノウハウを活かした研修を実施します。また、アプリ開発に必要なプログラム技術の習得（OFF-JT）にとどまらず、各受託事業者での実際のアプリ開発等（OJT）に携わることで、開発者として実務経験を積み、地域で活躍できる人材として就業に繋がります。

さらに、同じく基金事業で平成22年度より実施する「岐阜県版iPhoneアプリ開発事業」と併せ、100人規模で開発者を育成・輩出することで、ソフトピアジャパンへのスマートフォン関連事業者の集積促進、スマートフォンアプリ開発の一大拠点としての岐阜県・ソフトピアジャパンエリアのブランド化を目指します。

記

1 「スマートフォンアプリ開発人材育成事業」の概要

(1) 概要

スマートフォン全体を対象とし、1年後の市場の動向等も視野に入れ、受託事業者それぞれが持つ技術、ノウハウを活かした特色ある人材を育成する。

(2) 事業受託者及び新規雇用人数等

受託事業者	新規雇用人数	研修期間
FEYNMAN・パソナテック運営共同体	20名	H23.7.1～H24.3.31
バイザー株式会社	15名	H23.6.1～H24.3.31
トリガーデバイス・ゴッコ委託業務共同体	5名	H23.7.1～H24.3.31
株式会社電算システム	10名	H23.7.1～H24.3.31
株式会社インフォファーム	5名	H23.7.1～H24.3.31
岐阜IT協同組合	9名	H23.7.1～H24.2.29
アデコ株式会社テクノブレイン事業部名古屋支社	9名	H23.7.1～H24.2.29
アワーズ株式会社ソフトピアジャパン事業所	8名	H23.7.1～H24.3.31
計	81名	

※研修期間中は、受託事業者の規定に基づいた給与が支払われます。

(3) 研修内容（育成する人材）

- ・ F E Y N M A N ・ パ ソ ナ テ ッ ク 運 営 共 同 体 (iPhone/Android)
iPhone、Android 両方の開発スキルを有し、単にプログラミングだけでなく、インターフェースの設計や品質管理、アプリの一般公開管理までをトータルで行うことができる人材を育成。
- ・ バイザー株式会社 (Android)
「Android 技術を活用した組込エンジニアの育成」をテーマに、単にスマートフォン上で動作するアプリ開発エンジニアではなく、様々な機器上で動作するいわゆる「組込ソフトウェア」を開発できる人材を育成。
- ・ トリガーデバイス・ゴッコ委託業務共同体 (iPhone/Android)
起業に役立つマインド作り、アプリ開発のためのスキル習得、チームでのアプリ開発、コミュニティへの参加等を通じ、1～3人程度でスマートフォンアプリやサービスを提供する小規模な法人（マイクロ法人）として自立可能な人材を育成。
- ・ 株式会社電算システム (Android)
スマートフォンを活用した高度な技術力、ビジネス変化のスピードに対応する適応力を持ち、開発言語のみならず潮流の開発手法であるアジャイル開発のスキルを身につけた人材を育成。
- ・ 株式会社インフォフォーム (Android)
Android 開発に必要な技術的スキルの習得だけでなく、開発プロセスの各工程における業務やプロジェクト体制下での各役割に沿った業務遂行内容を学習し、Android 端末向け業務アプリを開発できる人材を育成。
- ・ 岐阜 I T 協 同 組 合 (iPhone/Android)
一人でアプリを開発・販売できるよう「プログラミング」、「企画」、「デザイン」、「開発」、「販売」、「サポート」の一連の流れを実際に体験することで、スマートフォンアプリの開発現場で、即戦力として活躍し、業界のキーマンとなりうる人材を育成。
- ・ アデコ株式会社テクノブレイン事業部名古屋支社 (iPhone/Android)
iPhone、Android 両方のアプリのプログラミングの知識を習得させるとともに、マナー、OA 全般、メンタルヘルスの研修を行い、企業の即戦力となる人材を育成。
- ・ アワーズ株式会社ソフトピアジャパン事業所 (Android)
「プログラム開発未経験」を中心に、I T 知識、コンピュータの基礎から開発言語、プログラミングの研修を行い、Android の開発技術者として、一定の水準に達する人材を育成。

2 「岐阜県版 iPhone アプリ開発事業」の概要（平成 22 年度からの継続事業）

(1) 概 要

iPhone アプリの開発に必要なスキル習得のための研修を短期集中的に実施するとともに、平成 22 年度事業で開発した「岐阜県版 iPhone アプリ」の公開に向け、機能向上、改修を実施。

(2) 事業受託者

F E Y N M A N ・ パ ソ ナ テ ッ ク 運 営 共 同 体

(3) 研修期間及び新規雇用人数

[前期]	平成 23 年 6 月 1 日～平成 23 年 10 月 31 日	10 名
[後期]	平成 23 年 11 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日	10 名
	計	20 名

(4) 研修計画

区 分	前 期	後 期
OFF-JT：3ヶ月 ・開発言語 (Objective-C) 基礎学習&実習 ・プログラミング基礎学習&実習 ・インターフェース制作実習	H23.6.1 ～ 8.31 (160 時間) (240 時間) (80 時間)	H23.11.1 ～H24.1.31 (160 時間) (240 時間) (80時間)
OJT：2ヶ月 ・既存アプリバージョンアップ、および新規アプリ開発	H23.9.1 ～10.3	H24.2.1 ～ 3.31

(5) 「岐阜県版 iPhone アプリ」について

平成 22 年度の同事業において、岐阜県の観光振興、物産購入、施策PRをテーマにOJTの一環として、研修生が下記9本の iPhone 用アプリを開発した。

平成 23 年度事業においては、これらのアプリの一般ユーザへの提供に向け、最新データへの置き換え、提供するデータの充実、画面デザインの再構成など、より利便性、実用性が高いアプリに機能向上、改修を行う。

アプリ名	機能等概要
ミナモカメラ	競技会場、地域に応じた様々なミナモと一緒に写真が撮影できるアプリ。撮影したミナモを集めるコレクション機能も提供
ぎふ清流国体競技情報	ぎふ清流国体の競技情報、会場、場所を案内するアプリ
岐阜県地名タイピング	岐阜県の地名をタイピングするゲームアプリ。地名に応じた名産品も表示され、楽天市場から購入することも可能
さるぼぼゲーム	岐阜県内の地名や名産品の名称を当てるゲームアプリ。
岐阜グルメナビ	現在地周辺の飲食店情報を紹介するとともに、地図表示から道案内するアプリ
ソフトピアガイド	ソフトピアジャパン周辺の飲食店の検索や電車、バスの時刻表、タクシー会社連絡先を表示するアプリ
岐阜へ行こう！	県内観光地の写真、説明などの情報を紹介するとともに、それぞれの場所を地図上に表示して道案内をするアプリ
岐阜エコチェック	「ぎふエコ宣言」各項目の活動をチェックして、記録するアプリ
岐阜国際交流	病院、学校の情報や日々の生活に必要な情報などを外国人向けに表示、案内するアプリ

(※) 組込

産業機器や家電製品などで、特定の機能を実現するためにコンピュータシステムを内蔵させること。これを制御するためのOS (AndroidもOSの一種) は「組込OS」という。

OGIFU・スマートフォンプロジェクトについて

<背景>

岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー（I AMAS）では赤松正行教授を中心に、早くから「iPhone勉強会」が行われ、この場から「Finger Piano」や「セカイカメラ」などiPhoneアプリケーションの世界的ヒット作が生まれた。iPhoneのアプリケーションは販売・流通経路の開拓が不要であり、中小・零細事業者や個人、さらに地方在住でも世界市場への進出が容易であることに県は着目し、I AMASにおける人材と蓄積されたノウハウ及びソフトピアジャパンの開発環境を活かし、「事業者の支援」と「地域の活性化」の2本の柱から地域全体を底上げするべく平成21年度より「OGIFU・iPhoneプロジェクト」を推進してきた。

一方で、最近では、Androidに代表されるスマートフォン市場全体が爆発的に拡大してきていること、また、開発者の不足が全国的に課題となっていることを踏まえ、平成23年度より「OGIFU・スマートフォンプロジェクト」として、事業の拡大を進めている。

<主な事業内容>

1 スマートフォンアプリ開発人材の育成（100人構想）

雇用対策基金を活用し、求職者100人程度にスマートフォン全体を視野に入れたアプリ開発等に必要なノウハウを習得させることで、就業に結びつけるとともに、スマートフォン関連企業が求める人材を育成、輩出することで、関連企業の集積、定着促進を図る。

2 スマートフォンプロジェクト推進拠点の設置

スマートフォンアプリ開発の最新技術の学習・活用拠点をソフトピアジャパンに設置し、最新技術の集積地としてソフトピアの魅力を向上することで、関連人材の集積促進を図る。

（1）「高度なアプリ開発講習の開講（iPhone塾、Android塾の開講）」

受講者のレベル、ニーズに応じた高度なアプリ開発関連講座を開催。

（2）企業間交流の促進

① モバイルカフェの開催

アプリ開発者のみならず、製造業、学生といった異業種・異分野の情報交換、交流を通じ、相互の技術向上と参加者間のネットワークづくりを行うための情報交換会「モバイルカフェ」を毎週開催。

② i.Laboの開催

高い技術力を持つモノづくり製造事業者、伝統産業とI AMAS関係者との交流を促進する、モノづくりのデザインに関する勉強会「i.Labo」を定期的に行う。

また、モノづくり製造事業者、伝統産業による、スマートフォン関連商品の製作、販売といった、新たな事業展開の支援も行う。

3 岐阜県版スマートフォンアプリの開発及び公開

アプリ開発人材育成でのOJTを通じ、「岐阜県公式スマートフォンアプリ」を開発し、岐阜県自身の名義で無償公開することで、岐阜県の施策、観光等のPRを図るとともに、岐阜県及びプロジェクトの知名度向上、ブランド化を促進する。

4 関連事業者の支援

(1) アプリ関連事業者の支援

ソフトピアジャパンドリーム・コアの1、2階を「iPhoneフロア」として指定。スマートフォンアプリ開発に携わるベンチャー企業、個人等について、入居から3ヶ月間の家賃を免除（指定管理者による減免）。

(2) 積極的な広報、PRの実施

県の持つ広報力を活用し、プロジェクトだけでなく、講座受講者、関連企業等の情報を積極的にPRすることで、プロジェクトの知名度向上とともに、関連企業の事業支援を図る。

5 スマートフォンの活用によるイベント等支援

(1) スマートフォン及びアプリ活用によるイベント等支援

スマートフォン等を活用した観光振興に寄与する取り組みを他事業、地域関係者と連携を図りながら積極的に推進することで、地域振興施策を支援する。

(2) 県施策との連携促進

スマートフォン、岐阜県版スマートフォンアプリを活用し、国体、観光をはじめとする県の主要施策との連携を促進することで、相乗効果による各施策の活性化やPRに寄与する。